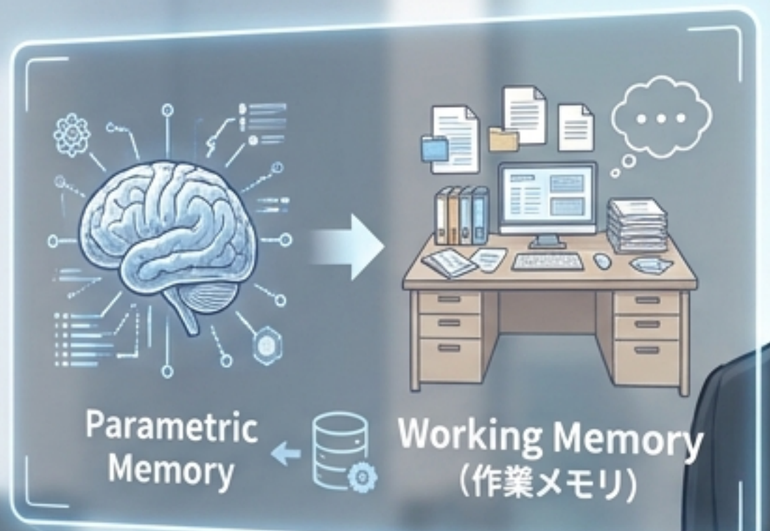

また表面的な回答だ…！
期待するレベルに全然
全然届かない！
毎回プロジェクトの
背景やルールを一から
から説明し直すの、
逆に時間がかかる…！
それはAIのせいじゃない。
君が『点』でしか
指示を出していない
からだ
AIの真の力は、一問一答ではなく
「全体像（コンテキスト）」の共有にある。

Claudeには
『元々知っている一般知識』と
『今この会話で参照できる
作業机（作業メモリ）』がある



自社の固有ルールや
過去の経緯は、
この『作業机』に広げて
広げてやらないと見ない。

そして、机の上は会話ごとに
リセットされるんだ

なるほど…！

毎回机の上が
リセットされていたから、
話が噛み合わなかったのか！

Projects

そこで『Projects』機能だ。
これは自社のルールを熟知した、
専属アシスタントのための
専用部屋を作るイメージだな

法務のNDA基準や、マーケティングブランドボイスなどを
ブランドボイスなどを一度設定すれば、常にその文脈で
一度設定すれば、常にその文脈回答が生成される。



ナレッジ資料をアップロして、
役割や口調(指示)を固定
固定できるんですね！



これなら、
毎回の前提説明が
ゼロになる…！

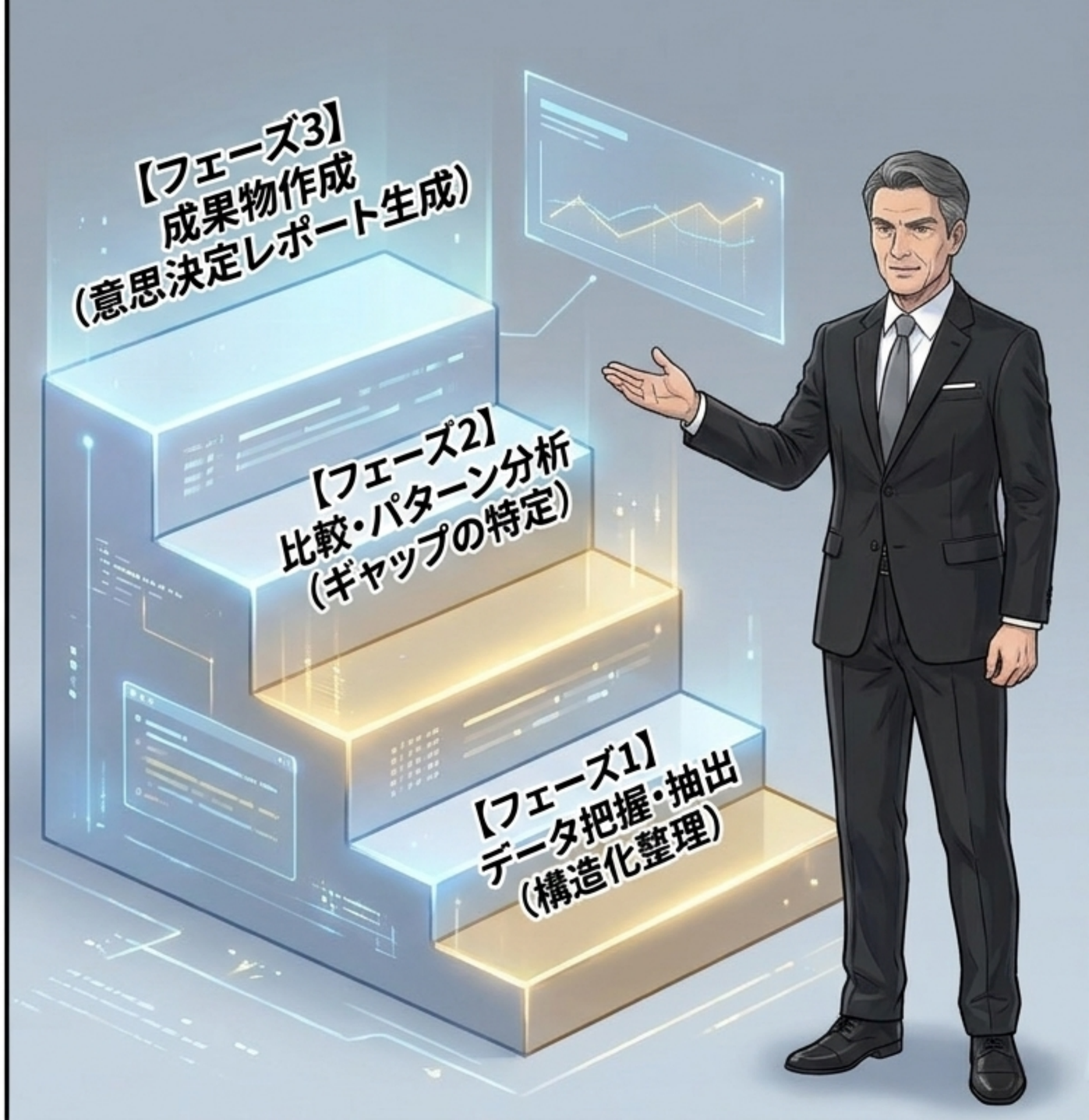
これなら、
毎回の前提説明が
ゼロになる…！


よし、手元にある
資料を全部
全部ぶち込もう！
Document(3).pdf
Scan_2026.pdf
待て。無意味なファイル名は
検索精度（RAG）の命取りだ。
内容が分かる名前に
リネームしろ
そして、常に最新の
そして、常に最新の『正解データ』だけを
古い資料との混在はAIを迷わせる。
定期的なクリーンアップが必須だ
2026_NDA_Playbook_v2.pdf
AIに迷いを与えない
「ファイル名の明確化」と
「鮮度維持」が精度を分ける。

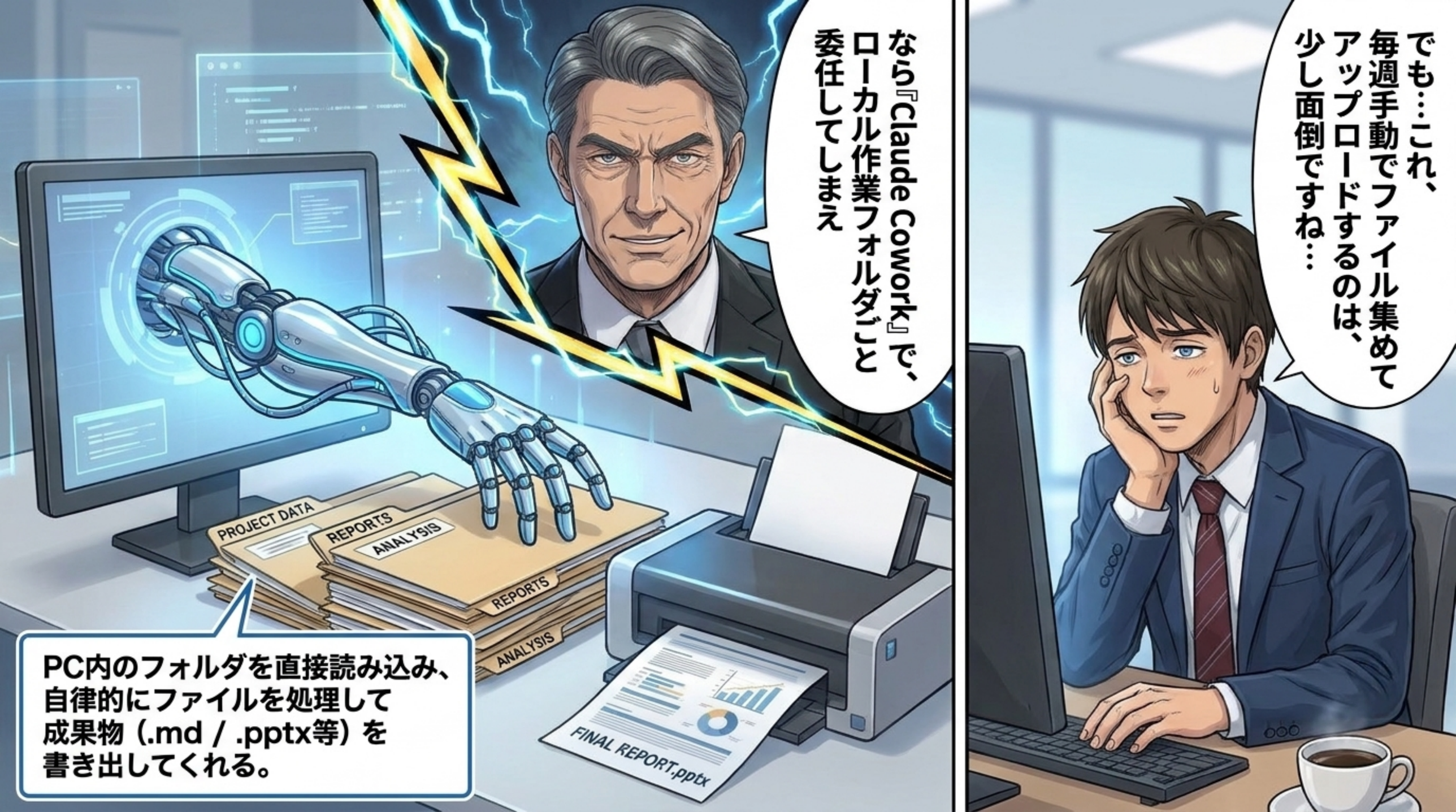

でも現実は、顧客メモやSlackのログ、
売上データなど、売上データなど、
色々な形式の資料が散らばっています。
どう分析させれば…？
DOCX
CSV
Slackログ
TXT
TXT
顧客メモ
CSV
PDF
TXT
売上ログ
DOCX
それらを広大な作業メモリに
一括で読み込ませて
『合成』させるんだ
TXT
CSV
PDF
DOCX
人間の手作業では見落としがちな、
異なるチャネル間の共通パターンや潜在的な課題を、
Claudeならわずか数分で抽出できる。


複雑な分析において、
一発で結論を急がせるな
(ブラックボックス化の防止)。
確認のチェックポイントを挟む
『段階的アプローチ』が
推論の精度を極限まで高める


なるほど、
対話を反復させながら
共に思考を進めるんでね！


【フェーズ3】
成果物作成
(意思決定レポート生成)
【フェーズ2】
比較・パターン分析
(ギャップの特定)
【フェーズ1】
データ把握・抽出
(構造化整理)


すごい！
完璧な分析レポートが
一瞬で完成しました！
そのまま上に出します！
BUSINESS REPORT
見た目の滑らかさに
騙されるな。
AIはもっともらしいウソ
ウソ（ハルシネーション）を
をつくことがある
『逐語的引用』を出力させ、
決定的な数値は必ず人間が
一次ソースと突き合わせる。
それがプロの『識別力』だ。
最終責任は常に人間にある


でも…これ、
毎週手動でファイル集めて
アップロードするのは、
少し面倒ですね…
なら『Claude Cowork』で、
ローカル作業フォルダごと
委任してしまえ
PROJECT DATA
REPORTS
ANALYSIS
REPORTS
ANALYSIS
FINAL REPORT.pptx
PC内のフォルダを直接読み込み、
自律的にファイルを処理して
成果物（.md / .pptx等）を
書き出してくれる。


『/schedule』コマンドで、
マンドで、
毎朝9時に最新レポートを
自動生成できるんですか!?
あぁ。ただし、
自律処理中にPCが
スリープすると止まるから、
『keep-awake』をオンに
にしておくのを忘れるな
keep-awake
ON
権限管理も堅牢で、
Enterprise版なら無断学習も
社内データでも安心して
自律処理を任せられるぞ

全体像を共有するプロンプトを
プロンプをください。
5分で世界が変わりますよ！

さあ、まずはデスクトップに
『テスト用』フォルダを作り、
3冊の資料を入れるところから
ところから始めよう！

全体像をファインロンプPO.9

今すぐ3つのファイルで全体像共有を体験しよう！





「雑務」を委任し、「創造的業務」に集中する未来。